

1. 目的
 2. 適用範囲
 3. 定義
 4. 役割
 5. 手順
 6. 評価
 7. 改訂

本手順書の目的は、プロジェクトの進捗状況を定期的に確認し、必要に応じて計画を修正することである。適用範囲は、プロジェクトの計画、実行、監視、評価のすべてのフェーズに適用される。定義として、本手順書において「進捗状況」とは、プロジェクトの進捗率、完了率、遅延率などを指す。役割として、プロジェクトマネージャーは本手順書の作成と更新を担当し、プロジェクトメンバーは本手順書の遵守と報告を行う。手順として、プロジェクトの進捗状況を定期的に確認し、必要に応じて計画を修正する。評価として、本手順書の効果を定期的に評価し、必要に応じて改善を行う。改訂として、本手順書を定期的に改訂し、最新の状況に合わせる。

本手順書の作成は、プロジェクトマネージャーによって行われ、プロジェクトメンバーによって承認される。

本手順書の適用範囲は、プロジェクトの計画、実行、監視、評価のすべてのフェーズに適用される。

本手順書の定義として、本手順書において「進捗状況」とは、プロジェクトの進捗率、完了率、遅延率などを指す。

本手順書の役割として、プロジェクトマネージャーは本手順書の作成と更新を担当し、プロジェクトメンバーは本手順書の遵守と報告を行う。

本手順書の手順として、プロジェクトの進捗状況を定期的に確認し、必要に応じて計画を修正する。